

第4次熊本市子ども読書活動推進計画に基づく取組状況 (参考資料)

基本方針1 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における子どもの読書活動の推進

保護者が子どもの成長にあわせて読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするためのきっかけとなるよう、子ども向け良書の紹介や家族での読書活動の推進に取り組む。

ア 乳幼児期からの読書活動の推進

<p>① 乳幼児向け良書の紹介</p>	<p>乳幼児向けの良書を紹介した冊子「このほんよんで」を赤ちゃんのいる家庭へ届けるなど、絵本を通じて親子が触れ合う大切さを伝える。また、「このほんよんで」に掲載している本を以下の施設へ継続して配置するとともに、配置施設の拡充に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="518 534 1342 762"> <tr> <td>配置先</td> <td>保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど</td> </tr> <tr> <td>設置個所数</td> <td>75ヶ所(R5年度末)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>傷んだ本は、修理又は買換えている。</td> </tr> </table> <p>■課題 状況に応じ、「このほんよんで」の掲載絵本の見直しの検討が必要である。</p>	配置先	保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど	設置個所数	75ヶ所(R5年度末)	その他	傷んだ本は、修理又は買換えている。									
配置先	保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど															
設置個所数	75ヶ所(R5年度末)															
その他	傷んだ本は、修理又は買換えている。															
<p>② 小中学校向け良書を紹介した冊子等の作成・配布</p>	<p>小学校低学年向けの良書を紹介した冊子「としょかんへおいでよ」の小学1年生への配布や、年齢に応じたおすすめ本のリーフレットを作成し、市内の小中学生に配布した。</p> <table border="1" data-bbox="518 980 1342 1245"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>配布物</th> <th>掲載図書数(入替冊数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～2年生</td> <td>冊子</td> <td>100冊(16冊)</td> </tr> <tr> <td>小学校3～4年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊(15冊)</td> </tr> <tr> <td>小学校5～6年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊(15冊)</td> </tr> <tr> <td>中学校1～3年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊(15冊)</td> </tr> </tbody> </table> <p>■課題 冊子・リーフレットの全児童生徒への配布に関しては、タブレット端末を活用したデータでの配付も検討していく必要がある。</p>	対象	配布物	掲載図書数(入替冊数)	小学校1～2年生	冊子	100冊(16冊)	小学校3～4年生	リーフレット	30冊(15冊)	小学校5～6年生	リーフレット	30冊(15冊)	中学校1～3年生	リーフレット	30冊(15冊)
対象	配布物	掲載図書数(入替冊数)														
小学校1～2年生	冊子	100冊(16冊)														
小学校3～4年生	リーフレット	30冊(15冊)														
小学校5～6年生	リーフレット	30冊(15冊)														
中学校1～3年生	リーフレット	30冊(15冊)														
<p>③ 乳幼児を対象としたおはなし会等の開催</p>	<p>ボランティアと協働し、乳幼児を対象としたおはなし会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="518 1394 1342 1502"> <tr> <td>0歳児・プレママ・プレパパ向け</td> <td>毎月第1金曜日開催</td> </tr> <tr> <td>1・2歳児向け</td> <td>毎月第3金曜日開催</td> </tr> </table>	0歳児・プレママ・プレパパ向け	毎月第1金曜日開催	1・2歳児向け	毎月第3金曜日開催											
0歳児・プレママ・プレパパ向け	毎月第1金曜日開催															
1・2歳児向け	毎月第3金曜日開催															

イ 家庭での読書活動の推進

<p>④ 家庭や図書館等における読書活動の啓発</p>	<p>家族で図書館等に出かけることや、ともに読書することなど、家族で一緒に読書を楽しむ習慣をつくることを呼びかけ、家族での読書活動を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="518 1750 1342 1935"> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。</td> </tr> <tr> <td>市立図書館</td> <td>赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(10/29実施)。</td> </tr> </table>	生涯学習課	熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。	市立図書館	赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(10/29実施)。
生涯学習課	熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。				
市立図書館	赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(10/29実施)。				

(2) 地域における子どもの読書活動の推進

地域における子どもの読書活動の推進の中核を担う図書館や公民館図書室において、子どもが本と出会い親しむことができ、気軽に相談できる場所となるよう環境を整備するとともに、中学生・高校生等を引き付ける多様な行事を開催するなど読書活動の普及・啓発を行う。

○市立図書館における取組
ア 子ども向け行事の充実

⑤ 子ども向け行事の定期的な開催

催事	対象者	実施日
おはなし会	0歳児・プレママ・プレパパ向け	第1金曜日
	1・2歳児向け	第3金曜日
	3歳児以上向け	第1土曜日
	小学生向け	第3土曜日
語りのおはなし会	小学生以上向け	第3土曜日
紙芝居	どなたでも	第1・第3日曜日
図書館秋まつりおはなし会	どなたでも	11/3,11/4,11/5

⑥ 中学・高校生向け行事の開催

中学生・高校生等の関心を引くような講演会やビブリオバトル等の多様な行事を開催した。

(指導課)

図書館主任会・学校司書補研修をオンライン研修により実施し、ビブリオバトル実施経験者の取組を紹介した。

■課題 今後も集合形式の研修を実施することは難しい。中学校区内で司書補助員が集合してお互いの実践を発表し合うなど、司書補助員同士の情報交換の機会を増やし、ビブリオバトルのような行事が多くの学校で実践されるようにしていく。

(市立図書館)

他団体主催の高校生対象イベントの共催を試みるも、会場がプラザ図書館となったため、本館では実績なし。

(くまもと森都心プラザ図書館)

ビブリオバトル、データベース活用セミナー等を実施した。

(城南図書館)

中学生を対象とした文学座俳優による「演劇ワークショップ」等を開催した。

イ 指定図書の展示及びおすすめ本の紹介									
⑦ 各種イベント等を通じた本の紹介	<p>読書感想文コンクール関係の指定図書、季節や各種イベント等に応じた本などを展示し、児童・生徒の利用を促した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行 事</th> <th>期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休みに役立つ本展</td> <td>7/11～8/27</td> </tr> <tr> <td>クリスマス展</td> <td>11/21～12/24</td> </tr> <tr> <td>年賀状・おせち料理展</td> <td>11/21～12/28</td> </tr> </tbody> </table>	行 事	期 間	夏休みに役立つ本展	7/11～8/27	クリスマス展	11/21～12/24	年賀状・おせち料理展	11/21～12/28
行 事	期 間								
夏休みに役立つ本展	7/11～8/27								
クリスマス展	11/21～12/24								
年賀状・おせち料理展	11/21～12/28								
⑧ 図書館ホームページ等での紹介	<p>図書館のホームページや「図書館だより」に新刊本・おすすめ本を掲載し、児童・生徒の利用を促した。</p>								

ウ 入院している子どもへの支援							
⑨ 院内学級への絵本の配架	<p>(再掲)感染防止対策のため小児科病床を有する公的病院等に対して、「このほんよんで」に掲載されている絵本の新規配本は再開していないが、下記の病院は設置継続中。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>絵本配架の医療機関</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>熊本中央病院</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熊本大学病院</td> </tr> </tbody> </table>	絵本配架の医療機関			熊本中央病院		熊本大学病院
絵本配架の医療機関							
	熊本中央病院						
	熊本大学病院						
⑩ ボランティア等への団体貸出	<p>新型コロナウイルス感染防止対策のため病院で活動されるボランティア等への絵本・児童書の団体貸出は再開していない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>冊数(冊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本中央病院</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>熊本大学病院</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2ヶ月ごとに入れ替え)</p>	医療機関名	冊数(冊)	熊本中央病院	0	熊本大学病院	0
医療機関名	冊数(冊)						
熊本中央病院	0						
熊本大学病院	0						
⑪ おはなしボランティア等の派遣	<p>新型コロナウイルス以降、病院からの依頼は再開していない。</p>						

エ 団体貸出制度の充実											
⑫ 公民館図書室への団体貸出	<p>公民館図書室へ団体貸出を行い、子どもたちへより多くの本を提供する。(貸出冊数:300冊以内、期間:3か月以内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公民館図書室名(冊数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>飽田(261冊)、中央(343冊)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>中央(257冊)、城南(40冊)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>中央(76冊)、南部(100冊)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>実績なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>■課題 公民館図書室からの依頼で始まった事業だが、実際の利用が少なく、偏りがある。</p>	年度	公民館図書室名(冊数)	R2	飽田(261冊)、中央(343冊)	R3	中央(257冊)、城南(40冊)	R4	中央(76冊)、南部(100冊)	R5	実績なし
年度	公民館図書室名(冊数)										
R2	飽田(261冊)、中央(343冊)										
R3	中央(257冊)、城南(40冊)										
R4	中央(76冊)、南部(100冊)										
R5	実績なし										

○公民館図書室における取組
ア おはなし会の実施

⑬ 乳幼児向け、小学生向けおはなし会の実施

定期的に、乳幼児向け、小学生向けなどのおはなし会を実施した。

生涯 学習課	実施時期	実施公民館名
	毎月1回	飽田、龍田
	毎月3回	託麻、花園
	毎月4回	東部、秋津、清水
	不定期	天明/年6回、河内/年2回
	学校等からの要望に応じて実施	河内
	季節に応じたおはなし会やイベントを実施	清水

イ 指定図書の展示

⑭ 読書感想文コンクール関係等の展示

読書感想文コンクール関係の課題・指定図書や自由研究に役立つ本などを展示し、夏休みにおける児童・生徒の利用を促した。また、読書感想文コンクールのポスターの掲示等を行った。

ウ おすすめ本の紹介

⑮ 「公民館だより」「図書室だより」などへの掲載

「公民館だより」「図書室だより」などに新刊本・おすすめ本を掲載し、児童・生徒の利用を促した。

広報媒体名	公民館名
公民館だより まちづくりセンターだより	五福、東部、託麻、西部、 花園、南部、幸田、天明、 北部、清水 合計10館
図書室だより	託麻、南部、飽田、龍田、 清水 合計5館
地域広報誌	河内

(3) 学校等における子どもの読書活動の推進

学校全体で読書活動の計画的な実施や、各教科等の授業における図書館の積極的な活用を進めるとともに、地域や家庭の協力を得ながら、子どもが学校でも家庭でも読書の時間を楽しみ、本にふれる機会充実するような取り組み。

ア 児童、生徒の読書活動の充実																									
<p>⑯ 読書活動等の実施</p>	<p>読書の日常化を目指し、学校・学年一斉や学級での読書活動、また、電子書籍の活用、学級文庫等、児童・生徒が本に触れる機会を増やす活動を広げた。(学校数:小学校92校、中学校42校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の電子書籍利用 <table border="1" data-bbox="551 410 1362 524"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R4/R5増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>220,396</td> <td>186,642</td> <td>15.3%減</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>30,174</td> <td>30,637</td> <td>1.5%増</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館における1人当たりの貸出冊数 <table border="1" data-bbox="551 576 1362 689"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R3/R4増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>67.6冊</td> <td>68.8冊</td> <td>1.2冊増</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>14.0冊</td> <td>14.9冊</td> <td>0.9冊増</td> </tr> </tbody> </table>	学校	R4	R5	R4/R5増減	小学校	220,396	186,642	15.3%減	中学校	30,174	30,637	1.5%増	学校	R3	R4	R3/R4増減	小学校	67.6冊	68.8冊	1.2冊増	中学校	14.0冊	14.9冊	0.9冊増
学校	R4	R5	R4/R5増減																						
小学校	220,396	186,642	15.3%減																						
中学校	30,174	30,637	1.5%増																						
学校	R3	R4	R3/R4増減																						
小学校	67.6冊	68.8冊	1.2冊増																						
中学校	14.0冊	14.9冊	0.9冊増																						
<p>⑰ PTA、図書館ボランティアと連携した取組</p>	<p>学校職員のみならず、PTAと連携したり、学校支援ボランティアの参加を呼びかけながら、家庭での読書時間の確保や読み聞かせ等の活動を広げ、児童、生徒の本に対する興味・関心を高める活動を行った。</p> <table border="1" data-bbox="551 837 1362 953"> <thead> <tr> <th rowspan="3">読み聞かせの実施校</th> <th>学校</th> <th>R5実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>90校(97.8%)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12校(28.6%)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの学校職員以外の協力 <table border="1" data-bbox="551 996 1362 1110"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>PTA関係者</th> <th>グループ・団体</th> <th>地域ボランティア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>46校</td> <td>29校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1校</td> <td>4校</td> <td>0校</td> </tr> </tbody> </table>	読み聞かせの実施校	学校	R5実施校	小学校	90校(97.8%)	中学校	12校(28.6%)	学校	PTA関係者	グループ・団体	地域ボランティア	小学校	46校	29校	6校	中学校	1校	4校	0校					
読み聞かせの実施校	学校		R5実施校																						
	小学校		90校(97.8%)																						
	中学校	12校(28.6%)																							
学校	PTA関係者	グループ・団体	地域ボランティア																						
小学校	46校	29校	6校																						
中学校	1校	4校	0校																						
<p>⑱ おすすめ図書の提示等による取組</p>	<p>読書内容の質の向上のために、おすすめ図書の提示等、児童・生徒の選書の支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="551 1220 1362 1334"> <thead> <tr> <th rowspan="3">おすすめ図書を 紹介している</th> <th>学校</th> <th>実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>89校(96.7%)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>39校(92.9%)</td> </tr> </tbody> </table>	おすすめ図書を 紹介している	学校	実施校	小学校	89校(96.7%)	中学校	39校(92.9%)																	
おすすめ図書を 紹介している	学校		実施校																						
	小学校		89校(96.7%)																						
	中学校	39校(92.9%)																							
<p>⑲ 蔵書データの管理と授業支援</p>	<p>教育センターによる学校図書館の蔵書データベースや情報ネットワークの管理、学校図書館支援センターによる図書物流システムの運営や図書を活用した授業支援等を行った。 授業に役立つ情報やおすすめ図書を紹介する通信「本の散歩」を毎月1回発行した。</p>																								
<p>⑳ 図書館を活用した調べる学習の取組</p>	<p>「調べマスター☆コンクール」などの実施を通じて、児童生徒の主体的な学びを促進し、情報活用・収集能力や体系的思考力を身に付けるため、学校図書館、市立図書館等を活用した調べる学習に積極的に取り組んだ。 インターネット上で調べた後、図書館の本を使って正確な情報をもとに調べる学習を行うことを推奨していくために、令和5年度に「調べマスター☆コンクール」から「熊本市図書館を使った調べる学習コンクール」へと名称を変更。</p>																								

⑳	学校へ行くことが困難な子どもたちへの取組	<p>教育支援センター〈フレンドリー〉に通所する子どもたちが、読書に親しむ機会の提供や、所外体験学習として図書館を活用する事業を実施した。</p> <p>(総合支援課)</p> <p>市立図書館と連携し、教育支援センター〈フレンドリー〉に図書コーナーを設置。(2ヶ月に1度 100冊程度入替)</p> <p>(市立図書館)</p> <p>教育相談室の教育支援センター〈フレンドリー〉への月1回の団体貸出は継続している。コロナ禍等により来館しての体験活動は、実施できていない。</p> <p>■課題 来館しての体験活動も実施できるよう相談室と連携を図る。「フレンドリーオンライン」とも連携を図り、電子図書館の活用を中心に子どもたちに働きかけていく。</p>
---	----------------------	---

イ 幼稚園や保育所等における読書活動の充実

㉑	幼稚園や保育所等における読書活動の充実	<p>保護者やボランティアの協力も得ながら、読み聞かせ活動等を充実し、子どもたちの読書への関心を高め、想像力豊かに本を楽しむ素地を育む実践を進めた。また、幼稚園や保育所等における中学生・高校生の読み聞かせ活動の推奨、支援を行った。</p> <p>(保育幼稚園課)</p> <p>保育士やボランティア、実習生による読み聞かせや絵本だよりの発行を行った。公立保育園各クラスの人気絵本ベスト3を調査。全園に周知し、職員の意識向上を図った。</p> <p>(指導課)</p> <p>毎日の読み聞かせと保護者による読み聞かせも行った。</p> <p>■課題 絵本が古くなっている。絵本の整理に時間がかかる。人手がないなどの問題も出ているが、保護者と協力しながら取り組んでいきたい。幼児が手に取りたくするような絵本の購入と入れ替え、環境づくりを行ってきたい。</p>
---	---------------------	---

ウ 職員研修の充実

㉒	新任司書業務補助員への研修等	<p>司書が学校図書館を訪問し、選書や蔵書についての助言を行い、また新任の学校図書館司書業務補助員に対して、図書の管理に関するパソコンの操作及び実務研修を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="539 1342 1339 1425"> <thead> <tr> <th>研修対象者</th> <th>人数</th> <th>実施日</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新任司書業務補助員</td> <td>13名</td> <td>4/7・4/27</td> <td>教育センター</td> </tr> </tbody> </table>	研修対象者	人数	実施日	場所	新任司書業務補助員	13名	4/7・4/27	教育センター
研修対象者	人数	実施日	場所							
新任司書業務補助員	13名	4/7・4/27	教育センター							
㉓	図書主任会・学校図書館司書業務補助員連絡会の開催	<p>学校全体での図書館教育充実のために、教職員と学校図書館司書業務補助員の連携が図れるように、図書主任会、学校図書館司書業務補助員連絡会等を実施した。</p> <p>(指導課)</p> <table border="1" data-bbox="539 1597 1339 1711"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校図書館主任</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>学校図書館司書業務補助員</td> <td>2回/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>※司書業務補助員については、Teamsのチャネルを活用し日常的な課題や情報の共有を図っている。</p>	対象者	開催回数	学校図書館主任	1回/年	学校図書館司書業務補助員	2回/年		
対象者	開催回数									
学校図書館主任	1回/年									
学校図書館司書業務補助員	2回/年									

エ 障がいのある子どもの読書活動の充実		
②5	特別支援学級用図書の充実	大型絵本、音の出る絵本等は、「特別支援セット」として購入、整備した。「特別支援セット」の図書は単価が高い本が多いため、学校のニーズをTeams等にて把握し、内容の充実を図った。入れ替えの状況をグループウェア等でお知らせし、活用につなげた。
②6	各学校からのリクエストに応じた図書の貸出	各学校からのリクエストに応じるために、特別支援関係の上記②5にあるような本のセットを支援の必要な子どもや学校へ貸し出した。
②7	本を身近に活用できる環境の整備	障がいのある子どもの身近に本があるようにするとともに、読書の時間を確保したり、読み聞かせ等の活動を実施したりするなど、読書への関心を高める取り組みを行った。 学校図書室とは別に、各教室に学級文庫を設置し、日頃から本に親しむ環境づくりが進んだ。教科書の読み上げアプリを利用して、読みに困難さがある子どもに、本に親しむ機会を提供することができた。

オ 長期休業中の学校図書館の活用		
②8	長期休業中の学校図書館の開放	夏季休業中の開放実施校 R4年度は、小学校 47校(51.1%) 中学校 13校(31.0%) ※夏季休業中に開館しなかった理由で一番多いのは、小学校「近くに公立図書館などがあるから」、中学校「開館の際に必要な人的な配置ができないから」。

基本方針2 学校図書館と市立図書館等の機能充実

(1) 学校図書館の機能充実

学校図書館の資料の充実を図るとともに、学校図書館支援センターによる各種情報の提供や快適な読書スペースの確保等による、学校図書館の機能充実に取り組む。

ア 学校図書資料の充実														
②9	学校図書館図書標準達成への計画的な蔵書の購入等	<p>令和5年度に策定した廃棄基準をもとに、蔵書率に関係なく利用価値が失われた図書の廃棄を実施した。一方で、学校図書の刷新を図り、質の高い読書環境整備を行う必要があり、図書購入費の予算を増額した。</p> <p>廃棄冊数 小中学校合計 270,909冊(R5年度末時点) 購入実績額 小中学校合計 43,129千円(R5年度決算時点)</p>												
③0	各学校からのリクエストに応じた図書の貸出	<p>各学校が授業等で必要とする図書のリクエストに応じ、市立図書館や他校にある図書を貸し出した。特に「調べる学習」に必要とされる本の充実に努めた。</p> <p>(市立図書館) 平和学習や水俣病に関する図書をはじめ、修学旅行の事前学習用図書(京都に関するもの)、通潤橋や外国語に関するものなどを購入した。</p> <p>■課題 授業の時期がどうしても各学校かさなる。</p> <p>(指導課)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>学校間の図書の貸し借りを実施した学校</th> <th>公共図書館から図書(資料)を借りた学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>72校(78.3%)</td> <td>82校(89.1%)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>41校(97.6%)</td> <td>28校(66.7%)</td> </tr> </tbody> </table>	学校	学校間の図書の貸し借りを実施した学校	公共図書館から図書(資料)を借りた学校	小学校	72校(78.3%)	82校(89.1%)	中学校	41校(97.6%)	28校(66.7%)			
学校	学校間の図書の貸し借りを実施した学校	公共図書館から図書(資料)を借りた学校												
小学校	72校(78.3%)	82校(89.1%)												
中学校	41校(97.6%)	28校(66.7%)												
③1	市立図書館が管理する物語図書のセットをブロックごとに巡回させて行う貸出	<p>物語図書のセット(1セット120冊)を5ブロックごとに4週間に1度巡回させる方式で各学校図書館に貸し出した。</p> <p>※R3年度に10年振りに「物語定期便」16,080冊すべての本の入れ替えを行った。</p>												
③2	小中学生向けの良書のセット貸出	<p>小学生・中学生の年齢に応じた良書セットを貸出した。</p> <p>貸出は学期単位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>実施校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1・2年生</td> <td rowspan="4">30冊セット</td> <td>1・2・3学期 各11校</td> </tr> <tr> <td>小学校3・4年生</td> <td>1・2・3学期 各11校</td> </tr> <tr> <td>小学校5・6年生</td> <td>1・2・3学期 各11校</td> </tr> <tr> <td>中学校1～3年生</td> <td>1学期4校、2学期4校、3学期0校</td> </tr> </tbody> </table> <p>■課題 毎年継続して内容の少しずつ入れ替えをしているが、書籍代の値上がりへの対応が課題である。</p>	対象	内容	実施校数	小学校1・2年生	30冊セット	1・2・3学期 各11校	小学校3・4年生	1・2・3学期 各11校	小学校5・6年生	1・2・3学期 各11校	中学校1～3年生	1学期4校、2学期4校、3学期0校
対象	内容	実施校数												
小学校1・2年生	30冊セット	1・2・3学期 各11校												
小学校3・4年生		1・2・3学期 各11校												
小学校5・6年生		1・2・3学期 各11校												
中学校1～3年生		1学期4校、2学期4校、3学期0校												
イ 図書情報の共有化														
③3	ホームページによる情報共有(調べる学習の推進等)	<p>子ども読書活動推進ホームページの更新を計画的に進めた。また、「としょかんへおいでよ」の各学年のリーフレットのPDF版、「セット貸出のお知らせ」「配送スケジュール」等を随時更新した。調べる学習の推進については、できていない。</p> <p>■課題 必要な内容は何か精選を図っていく必要がある。</p>												

③④	学校図書館へ図書の紹介ほか各種情報等の提供	情報紙「本の散歩」を月1回発行し、学校(司書業務補助員)へ情報発信を行った。11月には、「図書配送を支える学校主事・主事補、学校図書館司書補の先生方」というタイトルで特別号を出し、図書配送について紹介した。児童生徒用や職員用も作成、教育委員会の教育広報誌にも掲載し、保護者への周知も行った。
----	-----------------------	---

ウ 快適な読書スペースの確保		
③⑤	配架、レイアウト等の助言	中途採用等司書業務補助員に対し、システム操作、配架・レイアウト等に関して、Teams上の司書補グループでの情報交換や学校図書館支援センターによる電話での個別の相談助言を行っている。

(2) 市立図書館等の機能充実

図書資料の充実を図るとともに、子どもたちのための読書スペースの充実等により市立図書館等の機能充実に取り組む。

ア 資料の充実		
③⑥	児童書等の収集の充実	児童・青少年および幼児向けの図書を収集するとともに、心の成長に関する本やSDGsに関する本、読書に親しみやすく短時間でも楽しめる物語の資料を中心に収集した。

イ 子どものための読書スペースの充実		
③⑦	子どものための読書スペースを充実させる取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い閲覧室の座席数を平常に戻し、読書や学習の場を提供した。 ・子どもたちの興味や関心を引く展示や時節にあった展示を行った。 ・子どもカウンターでの読書相談、夏休みの自由研究や調べる学習等の展示やレファレンスを行った。 ・中高生の学びの場としての学習室は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、制限していた座席数を通常に戻した。また、アクリルパーテーションによる物理的感染対策を行い、安心して利用できる環境づくりを行った。

ウ ICTを活用したサービスの提供		
③⑧	ホームページの機能向上	子どもの発達段階に応じたおすすめ本ガイドを掲載した。また、検索画面に関連資料を掲載し、読みたい本の情報提供を行った。電子図書館ホームページでは児童向け特集を多数組み、テーマごとの図書について情報提供を行った。
③⑨	電子書籍コンテンツの充実	朝の読書活動等に利用しやすい『読み放題パック』を導入した。学習支援図書・ライトノベルの更なる充実を図り、利用を促進した。
④⑩	学校の授業支援のための電子書籍の活用	<p>R4年度：児童生徒及び教員の全タブレットに電子図書館に直接アクセスできるアイコンを表示。利用数が増加した。</p> <p>R5年度：朝などの一斉読書実施時に複数の児童・生徒が同時に同じ本にアクセスできる読み放題(マルチライセンス)を2セットから8セットに増加。小中学生の電子図書利用は、全体の約8割。</p>

エ 熊本県立図書館等との連携によるサービス向上

④① 貸出・返却窓口の相互利用

県立図書館の資料を市立図書館等の窓口から貸出・返却を行った。
R5年度貸出返却冊数 2,708冊
※県立図書館の利用登録者が、インターネットを利用して県立図書館へ資料貸出を申込みと、市立図書館等(22施設)の窓口で受取ることができる。返却する場合も、全ての市立図書館等及び返却ポストを使用できる。

市立図書館等の資料を県立図書館窓口から貸出・返却ができるよう県立図書館へ働きかけを行ったが、個人情報の取扱いについて折り合いがつかず、実施には至らなかった。
※県立図書館窓口に市立図書館システムの端末を配備し、市立図書館等の資料を利用者に提供する。

④② 連携中枢都市圏構想に係る図書館サービスの相互利用

<熊本市>
図書館、公民館図書室等に来館した圏域市町村の住民に対し、図書館資料の貸出等のサービスを実施した。

<圏域市町村>
図書館等を設置している市町村は、当該図書館に来館した熊本市の住民に対し、図書館資料の貸出等のサービスを実施した。

熊本連携中枢都市圏構成市町村数	19市町村(熊本市除く)
図書館利用協定締結済の市町村数	15市町村

	利用者数(人)			貸出冊数(冊)		
	熊本市民 の利用	相手住民 の利用	A-B	熊本市民 の利用	相手住民 の利用	C-D
	A	B		C	D	
合計	3,716	11,622	▲ 7,906	21,888	39,754	▲ 17,866

■課題 相互利用未実施の市町村に対して、利用状況の情報提供を行うなどして、相互利用の推進を図る。

基本方針3 市民協働による子どもの読書活動の推進

(1) 市民協働による推進

ボランティアの育成や団体の活動を支援するとともに、地域での新たな活動機会等の提供に取り組み、市民協働による子どもの読書活動を推進する。

ア ボランティアとの協働

④③	ボランティアとの協働による取組	「絵本のよみきかせ講座」「紙芝居の演じ方講座」「学校ボランティアのためのよみきかせ講座」等を開催した。															
		<p>おはなしボランティアのための勉強会を月1回開催した。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、順次おはなし会を再開し、ボランティア活動の場を提供した。 ボランティア登録者数…100名[13団体] 年間活動回数…60回(R6. 3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な取組</th> <th>開催回数等</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>月1回</td> <td>0歳児・プレママ・プレパパ、1・2歳児、3歳児以上、小学生</td> </tr> <tr> <td>語りのおはなし会</td> <td>月1回</td> <td>小学生以上</td> </tr> <tr> <td>紙芝居</td> <td>月2回</td> <td>どなたでも</td> </tr> <tr> <td>図書館秋まつりおはなし会</td> <td>11/3、11/4、11/5</td> <td>どなたでも</td> </tr> </tbody> </table>	主な取組	開催回数等	対象	おはなし会	月1回	0歳児・プレママ・プレパパ、1・2歳児、3歳児以上、小学生	語りのおはなし会	月1回	小学生以上	紙芝居	月2回	どなたでも	図書館秋まつりおはなし会	11/3、11/4、11/5	どなたでも
		主な取組	開催回数等	対象													
おはなし会	月1回	0歳児・プレママ・プレパパ、1・2歳児、3歳児以上、小学生															
語りのおはなし会	月1回	小学生以上															
紙芝居	月2回	どなたでも															
図書館秋まつりおはなし会	11/3、11/4、11/5	どなたでも															
ボランティアの主体的な活動や情報の共有ができる体制の整備を行うことはできなかった。 地域で開催されるおはなし会の情報提供を行い、新たな活動機会の創出に取組んだ。																	

イ 地域、団体等との連携

④④	各種団体等への貸出	R5年度は、各種団体・育成クラブ・病院など26箇所の団体が登録し、多くの絵本や児童書等毎月約12団体へ貸出を行った。
④⑤	おはなし会等で活用できる資料等の貸出	各地域で活動するボランティア等に対し、おはなし会用品の貸出を行った。 ■課題 古くなった布絵本やエプロンシアターについて、刷新を検討する。
④⑥	児童育成クラブへの支援	児童育成クラブが受入可能か実施の可否を検討したが、本の配送や管理の面で問題があることから、モデルとなる児童育成クラブの選定等に至らなかった。

基本方針4 子どもの読書活動の広報・啓発活動の推進

(1) 広報・啓発活動の推進

子どもたちをはじめ、地域社会全体で読書活動への取り組みの機運が高まり、地域ぐるみで子どもの読書活動を推進するために、効果的な啓発・広報活動を展開する。

ア 各種関連情報の収集・提供		
④7	各種広報等による情報提供	(教育政策課) 教育情報誌「ウイズ・ユー」において、図書館支援センターの図書配送についての記事を掲載し、情報提供を行った。年2回発行 (市立図書館) 「図書館だより」「図書館ホームページ」「市政だより」での広報や、SNSを活用した行事・イベント等の情報提供を行った。
④8	おすすめ絵本ガイドブックによる情報提供	「このほんよんで」の冊子におすすめ絵本設置施設を掲載し、冊子の配布により設置場所の情報提供を行った。
④9	公民館図書室による情報提供	「公民館だより」「公民館図書室だより」等により、こどもに関する行事・イベント等の情報提供を行った。
⑤0	熊本市生涯学習情報システムによる情報提供	熊本市生涯学習情報システムを活用して、子どもに関する行事・イベントや地域で活動する団体等の情報提供を行った。
イ 広報、啓発活動の推進		
⑤1	「子ども読書の日」(4月23日)等での啓発	「こども読書週間」をテーマとし、展示をはじめ、おはなし会やこども映画会の開催をとおり、啓発を行った。
⑤2	童話発表コンクール等の啓発事業の実施	令和元年度大会をもって「熊本県童話発表大会」が終了したことを受け、熊本県童話発表大会の地方大会として実施していた「熊本市童話発表コンクール」は廃止した。 秋の読書週間に合わせた図書館秋まつりを実施。(10/17～11/12)
⑤3	職場体験受入等による取組	小学校6校ほか2施設から施設見学の受け入れを実施。 中学・高校16校の職場体験の受け入れを実施。 秋の企画イベント「秋まつり」にて、子ども達に図書館に興味を持ってもらえるよう、図書館資料の検索方法や書架の見方、書庫の見学などを行い、本や図書館の魅力を楽しく体験してもらえるよう「図書館探検」を企画、実施した。
⑤4	社会教育委員会議等の活用	(生涯学習課) 社会教育委員会議で図書館の事業内容や読み聞かせボランティア等について報告を行った。